

令和5年度

進修同窓会総会

卒業60・50・40・25・15周年記念祝賀式



日時 令和5年4月29日(土)

会場 総会・祝賀式：土浦第一高等学校体育館

〒300-0051 茨城県土浦市真鍋4丁目4番2号

TEL 029-822-0137

FAX 029-826-3521

<http://www.sin-syu.jp/>

E-mail : shinshu@tsuchiural-h.ibk.ed.jp

茨城県立土浦第一高等学校校歌

作詞 堀越 晋・作曲 尾崎楠馬

1. 沃野一望数百里 関八州の重鎮とて
そそりたちたり筑波山 空の碧をさながらに
湛えて寄する漣波は 終古渝らぬ霞浦の水
2. 春の弥生は桜川 其の源の香を載せて
流に浮かぶ花筏 芦の枯葉に秋立てば
渡る雁声冴えて 湖心に澄むや月の影
3. 此の山水の美を享けて 我に寛雅の度量あり
此の秀麗の気を享けて 我に至誠の精神あり
東国男児の血を享けて 我に武勇の気魄あり
4. 筑波の山のいや高く 霞ヶ浦のいや広く
嗚呼桜水の旗立てて 我が校風を輝かせ
亀城一千の健男児 亀城一千の健男児

土浦一高賛歌

作詞 幡谷 祐一
作曲 池辺晋一郎

創学百年紫の

筑波の秀峰仰ぎつつ

紙筆に励み身体を鍛え

亀城の空は今晴れて

栄光に立つ土浦一高

広き心は霞ヶ浦の

水の清さと深き思慮

智力と技を磨きたる

亀城の友は巢立ちゆく

栄光に立つ土浦一高

先人の残せし調 胸に留め

自主・協同・責任を

一途に守り直き道

亀城育ちの意気爽やか

栄光に立つ土浦一高

令和5年度 進修同窓会総会次第

令和5年4月29日(土)

土浦第一高等学校体育館

- 1 開会のことば
- 2 校歌斉唱(校歌・一高賛歌)
- 3 物故会員に対する黙禱
- 4 会長あいさつ
- 5 学校長あいさつ
- 6 議長選出
- 7 議 事
 - (1) 第1号議案
 - ① 令和4年度事業報告
 - ② 令和4年度決算及び別途積立金報告

 - (2) 第2号議案
 - ① 令和5年度事業計画(案)
 - ② 令和5年度予算(案)

 - (3) その他

- 7 連絡事項
 - ① 次年度以降の総会日と周年事業祝賀会場について
2024(令和6)年 4月27日(土)(ホテルマロウド筑波全館予約済)
2025(令和7)年 4月26日(土) 予定

- 8 その他
 - (1) 感謝状贈呈
 - (2) その他

- 9 閉会のことば

第1号議案 令和4年度事業報告及び決算報告

令和4年度事業報告

[本部関係]

- 令和4年 4月15日(金) 同窓会役員会
- 令和4年 6月21日(火) 会報(第79号)編集委員会
- 令和4年 9月 3日(水) 臨時正副会長会議
- 令和4年 9月20日(火) 会報(第79号)編集委員会
- 令和4年10月22日(土) 卒業周年祝賀式説明会
- 令和4年12月 1日(木) 会報(第79号)発行
- 令和5年 2月28日(火) 新入会員入会式(全日制・定時制とも文書にて実施)
- 令和5年 3月10日(火) 会計監査
- 令和5年 3月18日(土) 役員会・評議員会会議

[支部総会関係]

- 令和4年 6月11日(日) 東京支部
- 令和4年 6月21日(火) 水戸支部・県庁支部
- 令和4年 11月12日(土) つくば支部会

[旧本館活用委員会]

1 委員会

- 定例委員会 隔週の火曜日に活動 20回
- 臨時委員会 定例以外の毎週火曜日 25回 アカンサス編集等

2 委員会のおもな活動

- 寄贈資料の台帳作成
- 在校生向け『アカンサス』の発行(11回)及びホームページへの掲載
- ホームページへの更新作業
- 一般公開に向けての展示準備作業

3 その他

- コロナ禍の影響が続く中でしたが、一高祭期間中、旧本館の特別公開を実施しました。年末からは旧本館トイレの新設工事、1月からは旧本館教室を授業で活用するための電装工事が始まり、一般公開にはいたっていません。

令和4年度 進修同窓会決算書

収入総額 14,028,010円
 支出総額 10,658,821円
 差引残額 3,369,189円 (次年度へ繰越)

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	比較増減(△)	備考
1 繰越金	2,886,990	2,886,990	0	前年度繰越金
2 終身会費	60,000	1,153,000	1,093,000	6名
3 年会費	7,000,000	7,083,000	83,000	2,135名
4 入会金	1,750,000	1,695,000	△ 55,000	新会員 計339名×5,000円
5 繰入金	0	0	0	
6 寄付金	0	1,210,000	1,210,000	下記のとおり
7 雑収入	10	20	10	預金利息
合計	11,697,000	14,028,010	2,331,010	
ご寄付者名	旧職員沼田義雄様 高35回卒業生ご一同様 高6回卒市塚廣様 高12回卒武井洋一様			

支出

(残額欄の△は決算額が予算額を超過していることを示す。)

項目	予算額	決算額	残額	備考
1 総会補助	200,000	23,592	176,408	転出・退出役員記念品等
2 会報発行費	3,400,000	3,185,474	214,526	会報印刷, 発送
3 通信費	400,000	21,004	378,996	切手, はがき
4 卒業記念品費	250,000	231,200	18,800	卒業証書ホルダー
5 卒業周年記念品費	500,000	500,000	0	卒業周年記念品積立
6 会議費	400,000	23,296	376,704	役員会, 評議員会経費
7 支部連絡費	400,000	40,000	360,000	支部会補助
8 生徒奨励費	1,200,000	1,100,000	100,000	生徒会補助
9 生徒活動補助費	800,000	442,627	357,373	各部活動用品
10 別途積立金	1,000,000	4,000,000	△ 3,000,000	別途積立金会計へ
11 慶弔費	100,000	39,000	61,000	生花
12 事務局費	1,000,000	874,648	125,352	担当者手当, 郵便振替手数料等
13 旧本館活用事業費	920,000	86,274	833,726	事務用品・旧本館公開準備経費
14 海外研修旅費	600,000	91,706	508,294	海外研修諸経費
15 予備費	527,000	0	527,000	
合計	11,697,000	10,658,821	1,038,179	

上記のとおり決算しました。

令和5年3月10日

茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会会長 大野 金一

監査の結果上記のとおり相違ないことを認めます。

令和5年3月10日

監事 草薙宏明 印

監事 高山了 印

監事 杉山博 印

令和4年度会費納入状況

納入総額

2,141 名

8,236,000 円

(年会費 2,135名 終身会費 6名)

(1)年会費

卒業回	人数	金額	備考	卒業回	人数	金額	備考	卒業回	人数	金額	備考
中1~35	0	0		16	37	111,000		48	12	36,000	
36	0	0		17	40	120,000		49	19	57,000	
37	0	0		18	51	153,000		50	22	66,000	
38	1	3,000		19	52	156,000		51	7	21,000	
39	1	3,000		20	45	135,000		52	16	48,000	
40	3	9,000		21	40	120,000		53	8	24,000	
41	0	0		22	38	114,000		54	13	39,000	
42	0	0		23	44	132,000		55	13	39,000	
43	1	3,000		24	34	102,000		56	8	24,000	
44	4	12,000		25	45	135,000		57	11	33,000	
45	1	3,000		26	31	93,000		58	6	18,000	
46	2	6,000		27	65	195,000		59	14	42,000	
47	3	9,000		28	39	117,000		60	8	24,000	
48	7	21,000		29	43	129,000		61	6	18,000	
49	3	9,000		30	24	72,000		62	6	18,000	
併中1	0	0		31	30	90,000		63	4	12,000	
併中2	2	6,000		32	26	78,000		64	12	36,000	
高1	2	6,000		33	36	108,000		65	14	42,000	
2	4	12,000		34	27	81,000		66	12	36,000	
3	12	36,000		35	36	108,000		67	9	27,000	
4	15	45,000		36	35	105,000		68	15	45,000	
5	21	63,000		37	24	72,000		69	16	48,000	
6	26	78,000		38	29	87,000		70	0	0	
7	22	66,000		39	22	66,000		71	2	6,000	
8	40	120,000		40	19	57,000		72	2	6,000	
9	34	102,000		41	20	60,000		73	7	21,000	
10	36	108,000		42	20	60,000		74	0	0	
11	34	102,000		43	12	36,000		75	310	1,550,000	
12	42	126,000		44	19	57,000					
13	45	135,000		45	17	51,000					
14	45	135,000		46	24	72,000					
15	47	141,000		47	23	69,000		小計	2,072	6,836,000	

卒業回	人数	金額	備考	卒業回	人数	金額	備考	卒業回	人数	金額	備考
定1	0	0		33	0	0		65	1	3,000	
2	1	3,000		34	0	0		66	0	0	
3	0	0		35	0	0		67	0	0	
4	1	3,000		36	1	3,000		68	0	0	
5	1	3,000		37	0	0		69	0	0	
6	2	6,000		38	0	0		70	0	0	
7	2	6,000		39	0	0		71	0	0	
8	1	3,000		40	0	0		72	29	145,000	
9	0	0		41	0	0					
10	3	9,000		42	0	0					
11	1	3,000		43	0	0					
12	1	3,000		44	0	0					
13	1	3,000		45	0	0		定時制部会		0	
14	1	3,000		46	0	0		通信制	1	3,000	
15	2	6,000		47	1	3,000		小計	63	247,000	
16	1	3,000		48	0	0		合計	2,135	7,083,000	
17	1	3,000		49	0	0					
18	2	6,000		50	0	0					
19	0	0		51	0	0					
20	0	0		52	0	0					
21	0	0		53	0	0					
22	1	3,000		54	0	0					
23	0	0		55	0	0					
24	2	6,000		56	0	0					
25	1	3,000		57	0	0					
26	2	6,000		58	0	0					
27	1	3,000		59	0	0					
28	0	0		60	1	3,000					
29	0	0		61	1	3,000					
30	0	0		62	0	0					
31	0	0		63	0	0					
32	0	0		64	0	0					

(2)終身会費

卒業回	人数	金額	備考
高8回	1	30,000	
高11回	1	30,000	
高21回	1	30,000	
高22回	1	1,003,000	
高36回	1	30,000	
高理31回	1	30,000	
合計	6	1,153,000	

令和4年度 進修同窓会別途積立金決算書

収入総額 36,084,245円
 支出総額 0円
 差引残額 36,084,245円（次年度へ繰越）

一般会計の収入不足、生徒会活動の奨励金、その他に備えて「別途積立金」を設ける。
 但し、「別途積立金」は役員会の承認を経て支出することができる。

収入

項 目	予算額	決算額	比較増減(△)	備 考
1 繰越金	31,064,256	31,064,256	0	前年度繰越
2 記念誌売上代	0	4,134	4,134	記念品売上
3 名簿売上代	0	1,015,470	1,015,470	1冊,名簿売上還付金
4 繰入金	1,000,000	4,000,000	3,000,000	
5 雑収入	744	385	△ 359	預金利息
合 計	32,065,000	36,084,245	4,019,245	

上記のとおり決算しました。

令和5年3月10日

茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会会長 大野 金一

監査の結果上記のとおり相違ないことを認めます。

令和5年3月10日

監事 草苺 宏明 (印)



監事 高山 了 (印)



監事 杉山 博 (印)



第2号議案 令和5年度事業計画(案)及び予算(案)

令和5年度事業計画(案)

[本部関係]

- 1 母校との緊密な連携と援助
- 2 支部活動の奨励
- 3 会報の発刊
- 4 母校生徒会活動の援助と新入会員の歓迎
- 5 役員会・評議員会の開催
- 6 その他目的達成のための活動

[旧本館活用委員会関係]

- 1 土浦一高（旧制土浦中学校）に関する資料収集の推進
- 2 旧本館校舎部分公開及び一般公開に向けての準備整理
- 3 同窓会ホームページの活用（アカンサスの掲載継続）
- 4 文化財指定等で公開している建物について、公開管理状況視察

令和5年度 進修同窓会予算書(案)

収入総額	11,905,000円
支出総額	11,905,000円
差引残額	0円

収入

単位:円

項目	予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
1 繰越金	3,369,189	2,886,990	482,199	前年度繰越金
2 終身会費	60,000	60,000	0	
3 年会費	7,000,000	7,000,000	0	
4 入会金	1,475,000	1,750,000	△ 275,000	295名(全275・定20)×5,000円
5 繰入金	0	0	0	
6 雑収入	811	10	801	預金利息
合計	11,905,000	11,697,000	208,000	

支出

項目	予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
1 総会補助	350,000	200,000	150,000	資料,会場設営等
2 会報発行費	3,400,000	3,400,000	0	会報印刷,送料
3 通信費	400,000	400,000	0	切手,はがき等
4 卒業記念品費	250,000	250,000	0	卒業証書用ホルダー
5 卒業周年記念品費	500,000	500,000	0	卒業周年記念品
6 会議費	400,000	400,000	0	役員会,評議員会等経費
7 支部連絡費	400,000	400,000	0	支部会補助
8 生徒奨励費	1,200,000	1,200,000	0	生徒会補助,生徒会活動功労賞
9 生徒活動補助費	800,000	800,000	0	部活動補助
10 別途積立金	1,000,000	1,000,000	0	別途積立会計へ
11 慶弔費	100,000	100,000	0	香料,弔電
12 事務局費	1,000,000	1,000,000	0	担当者手当,郵便振替手数料等
13 旧本館活用事業費	920,000	920,000	0	事務用品・旧本館公開経費
14 海外研修旅費	1,000,000	600,000	400,000	生徒海外研修引率旅費
15 予備費	185,000	527,000	△ 342,000	
合計	11,905,000	11,697,000	208,000	

※項目間の流用を認める。

上記のとおり提案いたします。

令和5年4月29日

茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会会長 大野 金一

令和5年度 進修同窓会別途積立金予算書(案)

収入総額 37,085,000円
 支出総額 0円
 差引残額 37,085,000円

収入

単位:円

項目	予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
1 繰越金	36,084,245	31,064,256	5,019,989	前年度繰越金
2 記念誌売上代	0	0	0	「進修120年」
3 名簿売上代	0	0	0	
4 繰入金	1,000,000	1,000,000	0	
5 雑収入	755	744	11	預金利息
合計	37,085,000	32,065,000	5,020,000	

上記のとおり提案いたします。

令和5年4月29日

茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会会長 大野 金一

進修同窓会規約

- 第1条 本会は、茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会（以下、同窓会という。）と称する。
- 第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、且つ母校の発展に協力することを目的とする。
- 第3条 本会は、事務局を茨城県立土浦第一高等学校内に置く。
- 第4条 本会は、下記の会員で組織する。
- (1) 正会員①茨城県立土浦中学校並びに併設中学校、茨城県立土浦第一高等学校及び茨城県立土浦第一高等学校附属中学校の各々卒業生。
②本校に在籍した者で同期が推薦し総会の承認を得た者。
 - (2) 名誉会員 母校の現職員及び旧職員。
- 第5条 本会に次の役員を置く。
- 2 役員を選出及び任務は、それぞれ次のとおりとする。
 - (1) 顧問 若干名。母校の現校長及び本会に功労のあった者を総会に諮って推挙する。
 - (2) 会長 1名。会員の中から総会で選出する。本会を代表し、会務を総理する。会長に事故ある時は、会長が余り指定した副会長がその職務を代理する。
 - (3) 副会長 若干名。会長が会員の中から任命し、総会で承認を得る。但し、母校の副校長、教頭及び東京支部長、土浦支部長、水戸支部長及びつくば支部長をこれに充てる。会長を補佐する。
 - (4) 評議員 支部長及び各回幹事から2名以内で選出された者。本会の重要な事項について会長の諮問に応じてこれを審議する。
 - (5) 本部幹事 40名以内。会長が会員の中から評議員会に諮り、会長が任命する。会長・副会長を補佐し、同窓会事務の企画・運営に当たる。本部幹事のうち4名を常任幹事とし、常任幹事は、それぞれ同窓会の総務、財務、広報及び事務局の総括を担当する。
 - (6) 校内幹事 若干名。母校在職の会員の中から会長が任命する。本会の庶務・会計の事務を処理する。
 - (7) 各回幹事 各回若干名。各回の会員が互選する。同期生間の連絡調整並びに母校及び同窓会との連絡に当たる。
 - (8) 監事 3名。会長が会員の中から任命し、総会で承認を得る。本会の会計を監査する。
 - (9) 選考委員 若干名。会長が必要に応じて、現校長、副会長及び本部幹事の中から選出する。会員の中から会長の人選に当たり、総会に諮る。
- 第6条 役員は任期は2年とし、再任を妨げない。補充役員は、前任者の残任期間とする。
- 第7条 本会は、適当の地域・職域に支部を設ける。支部長は、支部で選出し、会員同士の親睦並びに母校及び同窓会との連絡を図る。
- 2 本会に、定時制部会を置く。
- 第8条 本会は、年1回総会を開く。その時期は、4月とする。
- 第9条 本会は、年1回評議員会を開く。但し、会長が必要と認めるときは、評議員会及び正副会長会議を開くことができる。
- 第10条 本会正会員は、入会金として、第4条(1)①の会員5,000円、但し、附属中学校から引き続き高校へ入学した会員は、免除する。第4条(1)②の会員10,000円以上を納入する。
- 第11条 本会は、毎年同窓会報を発行し会員に配付するとともに、5年毎に会員名簿を発行する。
- 第12条 本会の経費は、第10条の入会金、年会費、終身会費及び篤志寄付金を以って充てる。
- 2 年会費は、卒業年から5年間は1,000円とし、卒業時に5ヶ年分を前納し、6年目以降は、3,000円以上とする。
 - 3 終身会費は、30,000円以上とする。
- 第13条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- 第14条 会長は、毎年事業計画及び予算書を作成し、評議員会の議決を経て総会に諮る。
- 第15条 会長は、毎年決算書を作成し、議決を経て総会の承認を得なければならない。
- 第16条 本会は、卒業60周年、50周年、40周年、25周年、15周年（但し、定時制課程の3修3卒者においては、次年も招待する）に当たる会員を総会の時に招待し祝賀する。
- 第17条 本会の名誉を著しく高揚した者、本会のため功績顕著な者に対しては、評議員会の審議を経て総会において表彰する。
- 第18条 本会の規約の改正は、総会出席者の3分の2以上の同意を得なければならない。

附 則

昭和53. 4. 8改正	平成 4. 4. 12改正	平成 6. 4. 10改正	平成 7. 4. 9改正	平成 9. 4. 13改正
平成11. 4. 11改正	平成22. 4. 11改正	平成24. 4. 8改正	平成25. 4. 14改正	平成27. 4. 11改正
平成31. 4. 14改正	令和 2. 4. 12改正	令和 4. 3. 26改正		

進 修 同 窓 会 役 員

顧問	高 4	史義	
	高 8	谷山ニク	
校長	高 8	※ 幡青	
会長	高 9	大野	会長代行
副会長	高 9	小古	
	高 11	長貝	
	高 13	大飯	
	高 17	長竹	
	高 18	渡小	
	高 18	松鈴	
	高 19	武豊	
	高 20	杉塚	
	高 21	日浅	
	高 21	※ 慶廣	
	高 21	※ 草高	
	高 23	杉飯	
	高 25	桜石	
	高 29	武田	
	高 35	辻渡	
副校長(全)	高 36	原鴻	
教頭(全)	高 38	助黒	
教頭(定)	高 38	斉小	
教頭(全中)	高 10	阿野	
監事	高 18	鈴伊	
	高 24	高江	
本部幹事	高 5	大尾	
	高 4	大吉	
	高 13	伊青	
	高 15	櫻荻	
	高 18	鈴大	
	高 18	長谷	
	高 20	山井	
	高 20	原森	
	高 21	川	
	高 21		常任
	高 23		常任
	高 27		常任
	高 28		
	高 28		
	高 29		
	高 30		
	高 31		
	高 31		常任
	高 34		
	高 37		
	高 39		
	高 40		
	高 41		
	高 45		
	高 49		
	高 53		
	高 52		
	高 57		
校内幹事	高 52	※	
事務室長			
教諭			

※は新任者

【評議員名簿】

支部長〔地域支部〕

土浦	高 21	小原芳道
高津天川	高 15	宮本幸男
真鍋	高 13	清水浩
美浦	高 8	武田信則
龍ヶ崎	高 12	山村邦男
真壁	高 11	飯泉春長
小美玉	高 17	出頭整雄
東葛	高 21	齋藤泰昇
宮城	高 6	塚田
北海道		
阿見		
岩間		
日立		
県庁支部	高 32	吉添浩明
筑波銀行桜水会	高 23	藤川雅海

土浦三中地区	高 17	大曾根清治
小松	高 10	廣瀬昭雄
新治	高 18	田上顯
牛久	高 14	宮本武憲
取手	高 11	海東宗平
八郷	高 14	三輪康史
水戸	高 17	大竹伸一
東京	高 18	飯塚哲哉
つくば	高 9	古徳利光
日本海		
日豊		
潮来		
常陽亀城会	高 35	保原幸弘
上海支部	高 29	矢口孝則

各回評議員

中 40	梅澤正之進
中 42	
中 43	横田照治
中 45	
中 47	井坂雄
中 49	真中義雄
高 2	
高 4	
高 5	尾形省三
高 7	住尾勉
高 9	古森貞弘
高 11	長瀬宗男
高 13	堀越昭
高 15	野村ルナ
高 16	石坂本栄
高 17	坂本志一郎
高 18	鈴木峰一
高 20	長沼秀一
高 22	荻原一
高 24	海老田格
高 26	富田博
高 28	小野城
高 30	野澤卓
高 32	下條博造
高 33	片岡達一郎
高 35	塚本康也
高 37	齊藤彦
高 39	日比野有
高 41	矢口和弘
高 43	目次康男

中 41	
中 43	高橋秀
中 44	
中 46	久保木康輔
中 48	
高 1	
高 3	
高 5	御田寺孝一
高 6	田村敏明
高 8	本川軍治
高 10	鈴木村博一
高 12	瀧ヶ崎洋隆
高 14	瀧南島卓男
高 15	高島田英光
高 16	高定五石毅
高 19	中柴神志和
高 21	柴藤沼澤
高 23	高藤澤島寛
高 25	高前島井浩
高 27	高桜島井明
高 29	高島岡木和
高 31	高茂久光
高 32	高原治行
高 34	高加曾根靖
高 36	高曾根上太
高 38	高大川政則
高 40	高大島幸
高 42	高木倉洋
高 44	高小倉大
高 46	高中井川

謙博道明行治洋也宏人亮一博骨郎史董杜輝太紘希平介愛音也開子
 雅泰利信義翔達尚健賢太昌龍謙太
 田山井池木谷頭田 田田木山谷原内田色部井藤 口 林田島町原
 吉中松小鈴戸兵島辻内冲八内長井倉島一原藤大関山森小宮大鶴藤
 45
 47
 49
 50
 47
 52
 54
 55
 56
 53
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75

満人和樹瑛人太之男樹正芳宏也介 人太翼聖雪老冬咲晟吹香樹
 重大友美秀章圭智忠真義彩一拓真 広翔 香杏陸美光伊綾大
 野山村澤田松藤沼井木井井下玉木 門花藤海藤田口藤本崎松林
 小青木飛島坪工菱櫻佐々酒酒山兒鈴 寺高佐鳴佐入山遠塚根久小
 48
 49
 51
 51
 53
 55
 52
 56
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72

進修同窓会旧本館活用委員会規則

(設置)

第1条 進修同窓会に、進修同窓会旧本館活用委員会(以下「委員会」という)をおく。

(目的)

第2条 委員会は、土浦一高(旧制土浦中学校)に関する資料を収集し、学校と連携しながら、旧本館の活用事業を推進することを目的とする。

(組織)

第3条 委員会の定数は、校内委員若干名を含め、20名程度とする。

(委嘱)

第4条 委員は、進修同窓会会員の中から進修同窓会会長が委嘱する。

(任期)

第5条 委員の任期は2年とし、欠員が生じた場合の補欠の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任をさまたげない。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に委員長1名、副委員長2名をおく。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。ただし、副委員長のうち1名は教頭をもってあてる。

3 委員長は委員会を代表し、会務を主宰する。

4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、または委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(事業)

第7条 委員会は、旧本館の活用を図るため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 土浦一高(旧制土浦中学校)に関する資料の収集。
- (2) 旧本館資料展示室における展示の改善。
- (3) 旧本館における各種資料の良好な保存環境の維持。
- (4) 所蔵する資料及び新たに収集する資料の整理、保存。
- (5) 旧本館の一般公開に係る事業。
- (6) その他、旧本館の活用に意義のある事業。

(庶務)

第8条 庶務は、進修同窓会本部事務局において処理する。
この規約は、平成14年4月14日から施行する。

旧本館活用委員会委員一覧

役職	卒回等	氏名
委員長	高21	助川博夫
副委員長	副校長(高36)	日向久
副委員長	高20	原田晋市
委員	事務室長	大森伸一
委員	高5	飯村弘
委員	定4	桜井光孝
委員	高19	小泉明雄
委員	高19	竹井茂雄
委員	高20	渡邊慎一
委員	高20	林和男
委員	高21	鈴木義人
委員	高21	松井泰寿
委員	高21	鴻巣茂
委員	高21	鈴木道信
委員	高21	中泉多詔
委員	高23	黒岩英行
委員	高25	大和田浩一
委員	高33	久保田高広
委員	高40	大塚健司
委員	高52	長谷川学
委員	高33	有賀和成
委員	職員	鈴木佐与

令和5年度

卒業60・50・40・25・15周年記念

祝賀式次第

令和5年 4月29日(土) 総会終了後

司会：本部

- 1 開会のことば ()
- 2 主催者あいさつ ()
- 3 祝辞 (高26回：高橋 信子様)
- 4 記念品贈呈 会長から各回代表者へ
- 5 謝辞 (高25回：井坂 公明様)
- 6 閉会のことば ()

卒業60周年 [高15回 (昭38年卒)	定13回 (昭39年卒)]
卒業50周年 [高25回 (昭48年卒)	定23回 (昭49年卒)]
卒業40周年 [高35回 (昭58年卒)	定33回 (昭59年卒)]
卒業25周年 [高50回 (平成10年卒)	定48回 (平成11年卒)]
卒業15周年 [高60回 (平成20年卒)	定58回 (平成21年卒)]

祝 辞

高 2 6 回卒業生代表 富 田 格

本日進修同窓会記念祝典を迎えられた各年度卒業生（15 周年、25 周年、40 周年、50 周年、60 周年）の皆様誠におめでとうございます。

ここ何年間は新型コロナウイルス感染症の為に開催することができませんでしたが、本日無事に開催に至ったことに安堵しております。

私達の在校当時（高 26 回卒業）女子生徒は 2 割程度と記憶しておりますが、最近では女性の地位向上や社会進出・社会貢献などに伴い本校の男女比率はほぼ同数と伺っております。誠に喜ばしく、また羨ましい限りでございます。40 周年以上の方々からすれば校舎・体育館など相当様変わりしていることと思われませんが、本日は卒業当時の 18 歳に戻られて懐かしい思い出に浸ってみてはいかがでしょうか。

近年附属中学校併設による中高一貫教育や民間からの校長の招聘等いろいろな変革も見られますが、創立 120 有余年の伝統を誇る我らが土浦一高及び本日卒業各周年を迎えられた方々、進修同窓会の益々の発展をご祈念申し上げます。

また、開催に向けてご尽力くださいました本部事務局の先生方には心より感謝申し上げます。

謝 辞

高 25 回卒業生代表 井坂 公明

本日は新型コロナの影響で4年ぶりの開催となりました令和5年度進修同窓会総会及び卒業記念祝賀式にお招きいただき、本当にありがとうございます。その上、今日は、ご祝辞と記念品を賜り、高25回卒業生を代表して心から御礼を申し上げます。

私たちは昭和48年(1973年)に卒業しました。長きにわたる学校生活の中で、大学受験は常に念頭にあったものの、自由闊達な校風のもと伸び伸びとやんちゃに振る舞った一高時代が最も印象に残っていると断言できます。一高祭の運営委員を務め後夜祭終了後にメンバーと合宿所に泊ったこと、仮装祭の準備のため材料をいただきに学校周辺の農家を回ったことなど思い出は尽きません。

卒業から50年、あっという間に過ぎ去ったとも言えますし、いろいろなことがあって長い道のりだったなあと感じます。大学に入学した年の秋には第一次オイルショックの洗礼を受けました。トイレットペーパー不足の大騒ぎや「狂乱物価」と言われた物価の高騰は、今でも私の脳裏に鮮明に焼き付いています。特に学生の身にこたえたのが書籍代の上昇で、中央公論社発行の「世界の名著」シリーズがある日突然、650円から倍の1300円に値上げされたのには困惑しました。高度成長の中でぬくぬくと育ってきた我が身が突然冷水を浴びた瞬間でした。

社会人になって30歳を過ぎたころには、バブルの時代がやってきました。株価や地価は上がり続け、「経済大国」日本はエレクトロニクス関連の技術では世界の最先端を走り、「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と持ち上げられました。今思えば国民の多くが浮き足立っていたような印象を持ちます。私たちもそうした環境の中で30代を過ごしました。

昭和が終わり平成に入った1990年代の初めには一人当たりのGDP(国内総生産)で米国を抜きましたが、まもなくバブルは崩壊し「失われた30年」と言われる長いトンネルに入りました。現在では科学技術力や国際競争力などいろいろな指標で先進国の中でも下位グループに位置するようになっていきます。その原因は様々でしょうが、少なくとも公的な教育費のGDPに占める割合がOECD(経済協力開発機構)加盟37か国中ワースト2位であることが影響している点に議論の余地はないと思います。

若い世代に希望の持てる形でバトンを渡していくには、これからの30年を見据え、教育にもっと力を注いでいくしかないのではないのでしょうか。予算が少ない中でも教育に優先的にお金を振り向けていく必要があると考えます。

教育と言えば土浦一高のことがまず頭に浮かびますが、この3月には卒業生である諏訪理さんがJAXA(宇宙航空研究開発機構)の宇宙飛行士候補に選ばれ、明るい話題を提供しました。若いリーダーたちを輩出するため尽力されている我が母校に大いに期待するものであります。

最後になりましたが、皆様方のさらなるご健勝とご活躍、土浦一高・附属中学校及び進修同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げ、謝辞とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。(了)